日本語英国教会ニュースレター
第 127 号　2021 年 8 月発行

# 平和と和解

8 月 8 日 St Martin's 教会での合同礼拝の説教から

LLM　ジョンソン友紀

最初に、平和を共に祈る礼拝を可能にした方々に感謝します。私の過去の出来事を聞けば、どんなに感謝し、また特に日本人コミュニティにとって、大変貴重な機会が与えられていることが分かると思います。

今日の礼拝は 1945 年 8 月 6 日と 9 日に歴史上唯一原爆が広島と長崎で使用されたことを覚えますが、単に恐ろしい戦争の終わりを覚えることではありません。

最近、在英の若い世代の多くが日本を魅力的とみていますが、私が 34 年前に渡英した頃の状況は大変異なっていました。1989 年昭和天皇が亡くなり、第二大戦中の天皇の責任を言及した批判が多くの新聞に記載されました。私は、特にビルマで日本軍に虐待された多くの元英捕虜の人々が途方もない苦痛の体験から、長い間、重荷を負っていることに気づかされました。

夫が司祭に就任した以降、毎年 11 月に行われる戦没者記念日礼拝に出席する時、元兵士達に囲まれる私は、暗黙のぎこちなさを感じて頭が下がり、できたら隠れたいと思うことがしばしばでした。心の中で「ごめんなさい」と言い続けました。彼らと同世代の方々に会う時は、自然に私は非常に用心深くなりました。次第に、在英日本人として同様な気持ちを持っているのは私だけではないと分かりました。

1995 年、私たち家族は宣教師団体の CMS と USPG の支援を受けてミッションパートナーとして、フィリピンへ向かい、アングリカンであるフィリピン独立教会の働きに加わりました。マニラから船で一日かかっていく距離にあるギマラスという小さな島に数年住みました。幸運なことに数多くの素晴らしい友人が与えられ、今も連絡を取っています。

同時に大戦中に日本軍によって受けた残酷な扱いを受けた家族の悲しい話を語る人々にも多く出会いました。ある店主は、妊娠中の親戚がどのように殺されたかを語りました。その時、私は娘を妊娠している時でした。店主は私を非難しませんでしたが、私はその話を聞いて胸が張り裂けそうで、非常に心痛みました。

他にも忘れられないことがあります。教会の集会に出席する為に、隣接の島に行った時のことです。私達は地元の会衆を通してある家族の家に宿泊するようにと招待されました。その家の女性は私が日本人であることが分かると、動揺して取り乱し、地元の言葉で声高になりました。同席していた主教が、彼女をなだめなければなりませんでした。私達は、彼女の親戚が彼女の目前で殺されたことを聞き、その残忍で衝撃的な詳細のために、私は眠れない夜を過ごしたことを今も鮮明に覚えています。それでも彼女が私達を泊めてくれたことを感謝しました。翌朝私達が彼女の家から出る時、彼女は私の手を取って「私達を忘れないでね」と言いました。これらの思い出は私の心に深く刻まれています。

もう一つ忘れがたい経験があります。私は引退するまで 10 年間在宅訪問の介護士をしていました。ある日担当の介護士の代理として仕事をしました。つまり、全く知らない一人暮らしの高齢者を訪問することになりました。入った途端、妙な感じがしました。私はすべての任務を終えて、去る直前に私が日本人であるかどうか尋ねられました。「そうです」と言うと、間をおいて、彼はビルマで日本軍の捕虜であったと簡潔に言いました。彼はその日、誰が来るのかは知りませんでした。彼にとっては本当に驚きだったに違いありません。彼の家の中で私が仕事をしている間、彼はずっと一生懸命何と言うべきか考えていたでしょう。私が今も覚えているのは次の彼の言葉です。「明らかに神は今日あなたを私に送ってくれた」。このような親切な言葉をかけてくれるとは思いがけないことでした。彼の信仰から語られた言葉は、壁を壊すかのように私の心に響いてきました。

私が平和を考える時はいつでもこれらの人々が辛い思いを分かち合ってくれたことを覚えます。これらの貴重な経験を私が担ぐ十字架として私は担いでいかなければなりません。

私達には傷ついた心をいやす力はありませんが、共に平和を祈るように人々を招くことはできます。それができれば、最も予想

外の人々と共に憎しみを感謝と和解に置き換えることができます。

その点ホームズ恵子さんのアガペワールドの仕事は重要であり、この度、より多くの方々に紹介できたことを嬉しく思います。今日の献金の一部もその働きの為に捧げられます。アガペワールドは、ビルマの元英捕虜と日本人との間に架け橋を築くために一生懸命取り組んできました。恵子さんの粘り強い働きは、隔たりの壁が壊されていくかのように沢山の奇跡を生み出しました。それは今日朗読したエフェソの信徒への手紙 2:14 を思い起こします。「私達の主イエス・キリストは私達の平和です。二つのものを一つにし、ご自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊された。」

昨年二回オンラインによる「Paper Lanterns　灯籠流し」の上映会をし、昨夜も上映会をしました。アメリカ人のバリー・フレシェット氏制作のドキュメンタリーは、広島原爆の被爆者である森重昭氏の物語です。森氏は、その日市内に拘束されていたアメリカの空軍兵の 12 名の捕虜が亡くなったことを知りました。森氏は、アメリカ兵捕虜の家族を探し、かれらの最愛の息子たちに何が起こったのか伝える為にほぼ 40 年かけました。

アガペワールドの働きと映画「灯籠流し」はあなた方はどう捉えますか。私にとっては、どちらも同じことを示していると思います。私達を隔てる壁を打ち破り、私達が共有する人間性に基づき、思いやりと愛をもって新しい関係を築くことです。

こうした道のりは決して簡単ではなく、しばしば心痛みます。私達が悶々とすることは当然と言わざるを得ません。それは心の広さと優しさを心のうちにもっていることを意味します。今日の福音書（ルカ 10:25-37）では、サマリヤ人の旅人は傷を負った人を見て、「憐れに思い」とルカは記しています。憐れみを感じることは、私達自身の他者への思いやりを見出すことへの良い出発点です。たぶん私達自身にとって平和と和解につながる道を見出ることができるでしょう。エリコ途上のサマリヤ人と他の人々のように、私達には行動を起こすか、あるいは背を向けるかの選択が与えられています。

時が経つにつれて、世界大戦体験者の声を聞く機会が減少しています。若い世代の為に、彼らが平和な世界を維持できるように、私達が知恵と知識を手渡していくことができればと願ってい

ます。重要な鍵はサマリヤ人の話の中にあります。どうぞ私達の思いやりをシンプルに他者へ示してください。私達の隣人を愛しましょう。　　（原文は英語の長文でしたので多少変更割愛しました）

ご報告

## ◆◇◆ Pray for PEACE 平和を祈る◆◇◆

8 月 6 日から 9 日、広島と長崎原爆記念にまつわる特別行事を皆さまのご協力によって予定通り行うことができたことを感謝して報告します。

他の行事のように、随時コロナ感染状況を考慮しながらの計画を立てて、参加を呼び掛けることは容易なことではありませんでした。期間中一つの場所でなく、教会ホールと聖堂間で、資料展示や Vigil のキャンドル等の設定移動が必要だったという物理的な困難、悪天候、参加予定者の変更等、予想外の悪条件が重なりました。一方で世話人ばかりでなく予想外のボランティアや参加者達の応援をいただいたことを感謝しています。

第二大戦中のビルマの元英捕虜と日本の和解活動をしている、アガペ・ワールドの発足人であるホームズ恵子さんの代理として、上野さんとお嬢さんが遠方から展示資料を持参して支援してくれました。https://www.agapeworldreconciliation.org/

ドキュメンタリー「灯籠流し」の監督バリー・フレシェットから事前に、再度上映への感謝の言葉を頂いています。

また、広島平和記念公園に設置されている、「原爆の子の像」のモデルは被爆後 12 歳で亡くなったサダコさんですが、その佐々木禎子さんのお兄さんである雅弘さんから、展示資料の許可と共に「平和への祈りの集会を開催されていることに敬意を表します。」とのメッセージを頂きました。資料には次の言葉が入っています。「今、世界中に禎子の心は折り鶴に乗って運ばれています。家族の小さな平和を願った禎子の思いは、大きくつながっています。小さな平和がなくて大きな平和はやって来ません！折り鶴を折るたびに禎子を思い出して下さい。
そして小さな平和の心を・・・・！！」とあります。

期間中、特にジュリア主任司祭とブライオニー副司祭, 実習生アンドリューさん、世話人の遠藤さん、加藤さん、志村さん、ミニコンサートの演奏者、北村桂子さん、チニ雅子さん、伊藤結子

さん、けんじりん並びにウクレレ音音の有志の方々、特別礼拝中「ふるさと」を歌ってくれたノトリー結実さん、伊藤結子さん、吉村ウッド珠美さんそれぞれに感謝を捧げます。黙想の素敵なミニコンサートの録画の一部はカフェの Facebook で閲覧できます。ぜひ聞いてみてください。

https://www.facebook.com/JapanCommunityCafe/

8 月 8 日の礼拝の録画は

https://www.youtube.com/watch?v=JscQ7MZ66-s

尚、期間中の献金£75.51 と 8 月 8 日の献金を合計した中から、アガペ・ワールドへ寄付をする予定です。教会の会計係から連絡が入り次第、皆様にお知らせします。

## ◆◇◆　広島と長崎を覚える　◆◇◆

日本語英国教会とは直接関係ないことですが、広島と長崎を覚える集会が定期的に行われていることをご存知でない方もおられるのでここに記します。

8 月 6 日の夜、キングストン地区で CND（核軍縮キャンペーン）主催によって広島原爆記念の集いがあると、T さんからお知らせをもらい初参加しました。地区の市長さんが親しくしている日本人から習ったと日本語を交えた挨拶をされました。周辺の日本人たち約 12 名ほどが参加していました。そのうちの一人から原爆投下の時に広島にいた家族の話を聞きました。

8 月 7 日の午前 11 時フィンチェリーにある公園で、広島と長崎原爆記念と表示されている桜の木を囲んで、地元の CND 主催で集まりに参加しました。日本人会の会員の方からの誘いでした。雨降りの中、集まった日本人たち 10 名ほどと共に「ふるさと」を歌いました。地区の市長夫妻も参加されていました。彼女は 6 月末にあったミルヒルの教会の 100 周年記念に来られた方で、ご夫妻共に親日家です。

上記の行事は、主催側の主旨よりも、広島と長崎原爆記念として、この地にあっても覚えて祈ってくださること、またこうした追悼の時を与えてくださることに対して、敬意と感謝を示されたい日本人の方々が集まっているように思えました。

## ◆◇◆　オンライン聖書の学び　◆◇◆

8 月 11 日ルカによる福音書 7 章 11 節から 17 節まで「やもめの息子を生き返らせる」の箇所から参加者が気づいたことを分かち合いました。神様の御力と働きは実に立体的という意見がありました。神、イエスと聖霊の働きが常にあるからです。

記述の中には、一人息子を失った母親がイエスに助けを求める言動はないけれど、「主はこの母親を見て、憐れに思い」息子を生き返らせます。群集が恐れながらも神を賛美します。私達も神様のみ力の凄さにおののきながら賛美できますよう。

## ◆◇◆　ヘンドン墓地　◆◇◆

8 月 14 日、ヘンドン墓地内の日本人の区画で、英国日本人会による慣例の墓地清掃と「お盆」が行われ、日本人会の担当者から誘われて参加しました。

今回は三輪精舎の僧侶が読経の後、お盆についての話がありました。親睦の集いの終わり間際に居残っていた方々と共に亡き日本人クリスチャンを覚えて祈りを捧げました。特に園田先生と奥様を覚えて祈りを捧げました。参加された方が「キリスト教の祈りの方が分かりやすいね」と言ってきました。

お盆を含み、年間 3 回墓地清掃と供養が行われています。当日は「お盆」でしたので、僧侶に敬意を表して、キリスト教の祈りは控えめにしました。今後も日本人会の方々を支援する為に　墓地清掃に参加します。墓地管理の担当者から　秋の墓地清掃の時は、祈りと共に聖歌を歌ってもよいとの了解を得ています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

ロンドン教区の組織的な担当地区としては、ロンドンのフィンチェリーやヘンドンは、ミルヒルの St Michael &All Angels　教会と同様にエドモントン地区となります。エドモントン地区のロブ主教から日本人コミュニティチャプレンとして任命されていますので、事後報告として平和記念のこと、ヘンドン墓地またフィンチェリーでの追悼の様子をロブ主教へ伝えた処、大変喜ばれて、お祈りが寄せられました。

## ◆◇◆今後の予定◆◇◆

### ＊＊＊　コミュニティカフェ　＊＊＊

**9 月 4 日（土曜日）**午前 10 時から 12 時まで開催しますのでどうぞ
St Martin's 教会
ショルダーマッサージ、ガレージセール、アクセサリー、自家製パン、サスティナブル商品、寿司弁当、蒸しまん、和の小物、日本語の古本市
ライブ演奏は　けんじりん、みゆき、コニー、北村桂子、チニ雅子、シュー、伊藤結子　（ギター、ウクレレ、箏、歌）
最新情報は https://uk.mixb.net/information/articles/4422

### ＊＊＊　特別感謝礼拝へのお誘い　＊＊＊

**9 月 10 日(金曜日)**　午後 5 時からセントポール大聖堂にて、St Martin's 教会が所属している Willesden Area のピート主教への感謝を捧げる夕べの礼拝があります。セキュリティチェックの為に余裕をもって聖堂は午後 4 時 15 分から開きますが、出席者は午後 4 時 50 分までに着席するように早めに来場してください。長い間ピート主教は日本語英国教会の働きを祈り励まして下さった方です。ご都合がつきそうな方は Yuki までご一報ください。

### ＊＊＊　オンライン　聖書の学び　＊＊＊

**9 月 8 日（水曜日）**午後 8 時から 9 時まで　ルカによる福音書 7 章 18 節から 35 節まで　「洗礼者ヨハネとイエス」について
短い時間でも、じっくりと聖書のみ言葉に耳を傾けてみませんか。リンクは追ってお知らせします。

### ＊＊＊　St Martin's Celebration Sunday＊＊＊

**9 月 19 日（日曜日）**午前 10 時から Archdeacon of Northolt Catherine Pickford を説教者として迎えた特別礼拝があります。ロックダウン中教会活動を支えた会衆の人々への感謝礼拝です。

当日は無料の特別のブッフェランチの祝会が礼拝後にされます。この企画は 6 月末に予定されていたのが、ロックダウン解除の遅延により延期されるものです。礼拝後 11 時 15 分過ぎから、コミュニティカフェから有志によるライブ演奏が行われます。現在由美さんによるシンギングボール、けんじりんのギター、コニーさんによるウクレレ、雅子さんの歌、結子さんの歌が予定されています。ランチ他ゲームも用意されます。

＊＊＊　日本語礼拝　＊＊＊

**9 月 19 日（日曜日）午後 3 時から**

上記の祝会と重なっていますが、日本語礼拝を希望される方々もおられるので、行います。礼拝の前に、聖歌の練習を一緒にしてから礼拝を始めます。

**夕べの礼拝　司式・説教**　　ジョンソン友紀

礼拝後、昨年の 3 月以来 1 年半ぶりの**ティータイムです**

＊＊＊　オルガンの調べと共に迎える日曜の朝　＊＊＊

9 月 26 日（日曜日）朝 8 時半　オンラインで東京在住の菊池泰子さんを迎えます。この集まりを始めて一年になります。今回はオルガンの音色を聞いて、振り返りと話し合いをします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

8 月 8 日の平和の特別礼拝での説教は、録画を通して数多くの方々が聞いてくれました。Willesden 地区のミニストリーの指導者 Andrew Corsie 司祭から、義父がビルマの元英捕虜であったが、不思議に日本軍に対しての憎しみより親しみの気持ちをもっていたこと、「こうした記念をすることは戦争や暴力に反対する貴重な働きです。和解の礼拝を実現してくれたことに感謝している」との心温まるメッセージを頂きました。

Yuki Johnson
Licensed Lay Minister Japanese Anglican Church St Martin’s West Acton
Lay Chaplain for Japanese Community St Michael & All Angels Mill Hill
Reader Diocese of Worcester
問い合わせは　yukifunakawa@btinternet.com
日本語英国教会のブログ　http://blog.goo.ne.jp/jacuk
ホームページ http://shutotomoni.wixsite.com/jesus